



- 報告書 -

おかやまSDGsフェア実行委員会

- 開催概要・来場者数 2
- 会場レイアウト図・出展者一覧 3～4
- 会場風景
 - レセプションホール 5～6
 - 201会議室 7
 - レセプションホールロビー 8
 - ひかりの広場 9
 - 岡山県医師会館401会議室 10
- ステージプログラム(三木記念ホール) 11
 - 8/6 開会式 12
 - 発表1～5 13～15
- ステージプログラム(コンベンションホール) 16
 - 8/6 17
 - 8/7 18
- パートナーシップ交流会 19
- ワークショッププログラム(ひかりの広場) 20～21
- 特設コーナー 22
- 広報 25～31

名 称	おかやまSDGsフェア2024
主 催	おかやまSDGsフェア実行委員会 ※構成団体：一般社団法人岡山経済同友会 岡山商工会議所 岡山大学 岡山県 岡山市 真庭市 株式会社中国銀行 山陽新聞社 特定非営利活動法人岡山NPOセンター 公益社団法人おかやま観光コンベンション協会 株式会社岡山コンベンションセンター
開 催 趣 旨	「子どもたちと学ぶ私たちの未来」を全体テーマに開催。2025年にSDGsをテーマとして開催される大阪・関西万博との共創を大きな柱とし、関西で活動する若者たちとの交流プログラムなども実施
後 援	内閣府地方創生推進室、中国経済産業局、四国経済産業局、中国四国地方環境事務所、日本政府観光局(JNTO)、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、公益財団法人大阪観光局、瀬戸内オーシャンズX推進協議会、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会
協 力	岡山大学DS（データサイエンス）部、岡山大学ローターアクトクラブ（RAC）
日 時	2024年8月6日(火) 10：00 ～ 16：00 ※交流会17：00～ 2024年8月7日(水) 10：00 ～ 16：00
会 場	【第1・2会場】岡山県医師会館「三木記念ホール」「401会議室」 (岡山市北区駅元町19番2号) 【第3会場】岡山コンベンションセンター 「レセプションホール（ロビー・201会議室）」 (岡山市北区駅元町14番1号) 【第4会場】リットシティビル「ひかりの広場」 (岡山市北区駅元町15番1号)
動 員 目 標	2,000人 (小中学生とその父兄、高校生、大学生、企業・団体、その他一般市民)
入 場 料	無料



★来場者数

日付	天気	来場者数
8月6日(火)	晴れ	約1,000人
8月7日(水)	晴れ	約1,000人



◎レセプションホール

- ① 2025年日本国際博覧会協会
- ② グリーンチャレンジ
- ③ 大阪・関西万博パビリオン「電力館 可能性のタマゴたち」
- ④ あなぶきハウジングサービス
- ⑤ チーム「いまばりのイロ」愛媛県繊維染色工業組合
- ⑥ (一社) DESIGN GOALS
- ⑦ (株) リプロ
- ⑧ (株) フジワラテクノアート
- ⑨ NPO法人Blue Earth Project
- ⑩ 岡山市 岡山市文学賞運営委員会、アッパービレッジ(有)
- ⑪ 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会
- ⑫ FORESTRAIL HIRUZEN-SHINJO 2024 supported by GREENable
- ⑬ 岡山SDGs未来都市連絡協議会
- ⑭ 真庭市役所
- ⑮ 山陽学園中学校・高等学校地歴部
- ⑯ 岡山高等学校
- ⑰ 瀬戸内かがりアグリ推進協議会
- ⑱ (株) ありがとうファーム

◎レセプションホールロビー

★飲食出展コーナー

- 岡山大学ローターアクトクラブ(RAC)
- 岡山大学TABLE FOR TWO(TFT)
- (株) ありがとうファーム
- コノヒトカン×岡山高校
- 岡山県立瀬戸高等学校

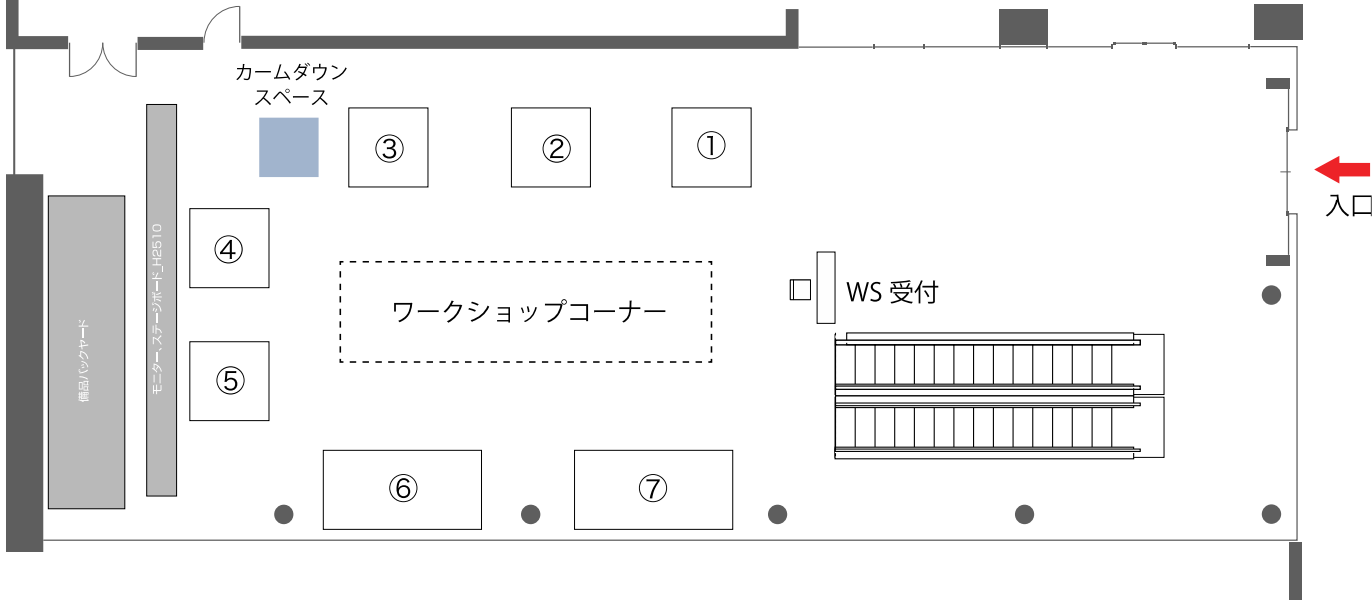
◎201会議室

★協賛企業出展ブース

- ① 岡山ダイハツ販売(株)
- ② 積水ハウス(株)岡山支社
- ③ DOWAグループ
- ④ ナカシマホールディングス(株)
- ⑤ アサヒ飲料(株)岡山支社
- ⑥ 平林金属グループ
- ⑦ ひろやす瓦((有)廣安瓦建材)

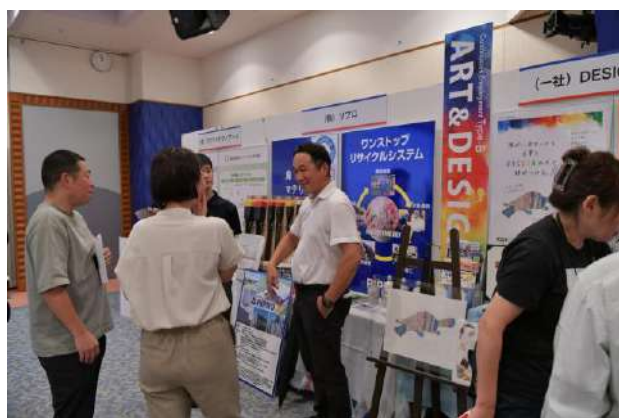
◎ひかりの広場

- ①(株)中電工
- ②西日本旅客鉄道(株)
- ③オーエム機器(株)
- ④(株)ちゅうぎんフィナンシャルグループ
- ⑤山陽新聞社
- ⑥岡山トヨタ
- ⑦ミサワホーム中国(株)

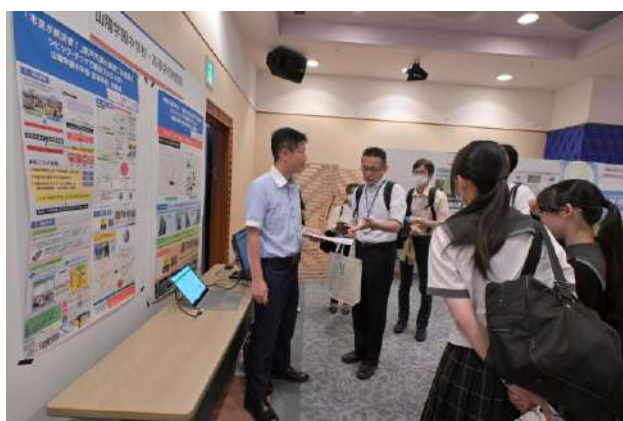


各社出展内容のイメージや関連写真

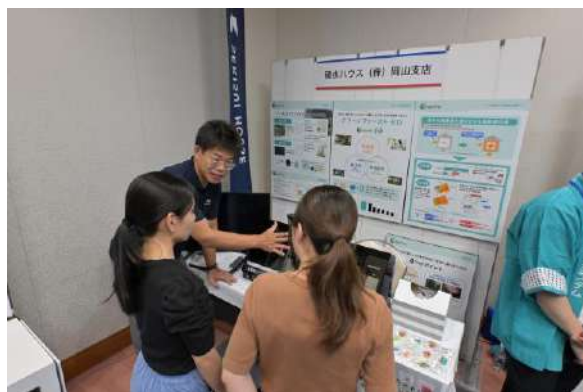
●レセプションホール



●レセプションホール



●201会議室



●レセプションホールロビー



●ひかりの広場



●岡山シティーミュージアム講義室 (夢育)



●岡山県医師会館401会議室

◎ Blue Earth塾 8/6(火)

神戸市拠点のNPO法人Blue Earth Projectの大学生によるワークショップを実施(約50名参加)



◎ 海の自由研究フェス2024 8/7(水)

同時開催イベントとして、認定NPO法人green bird（東京）による海の環境問題と夏休みの自由研究を掛け合わせた「海の自由研究フェス」が岡山中で初開催されました。



■三木記念ホール 8月6日(火) ステージスケジュール

第1会場 ◆ 岡山県医師会館 「三木記念ホール」	
10:00	開会式 10:00～10:30
10:30	発表 1 10:30～11:30
11:00	2025 年日本国際博覧会協会
11:30	
12:00	発表 2 11:40～12:10
12:30	岡山県観光課 (森の芸術祭事務局)
13:00	
13:30	発表 3 13:00～14:00
14:00	岡山ユネスコ協会
14:30	発表 4 14:10～14:40
15:00	岡山市・岡山市文学賞運営委員会
15:30	発表 5 14:50～16:00
16:00	萩原工業株式会社 能登復興ネットワークいやさか 岡山 NPO センター 災害支援ネットワーク岡山



◎開会式 8/6(火)

総合司会未来さんの進行で、一般社団法人岡山経済同友会の梶谷俊介代表幹事、2025年日本国際博覧会協会 企画局上席審議役 兼 持続可能性部長の永見靖氏がそれぞれ主催者と招待者を代表し挨拶。大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー・ユネスコ親善大使の河瀬直美氏によるビデオメッセージ放映に続き、藤木茂彦実行委員長による開会宣言で開幕しました。開会식을皮切りに、5つのステージプログラムが展開されました。

◎会場ステージ



◎総合司会未来さん、PC要約筆記研究会



◎開会挨拶



◎招待者代表挨拶



◎ビデオメッセージ上映



◎開会宣言



◎発表 1

「大阪・関西万博における持続可能性への取り組みと子供・若者」と題して、公益社団法人 2025年日本博覧会協会 企画局上席審議役 兼 持続可能性部長の永見靖氏にお話しいただきました。



◎発表 2

「地域資源を活用した『森の芸術祭 晴れの国・岡山』の開催について」と題して、岡山県産業労働部観光課の青木咲暁（あおき・さき）氏にご発表いただきました。



◎発表 3

「ユネスコSDGs パスポート体験発表会」として、中学生が様々な人とのつながりを通して地域の諸課題に取り組む中、持続可能な社会を実現するために考えたことを発表。岡山ユネスコ協会理事・森淳氏の司会進行で、岡山市立操山中学校、岡山大学附属中学校の生徒にご登壇いただきました。



◎発表 3



◎発表 4

昨年10月「ユネスコ創造都市ネットワーク」文学分野に国内で初めて加盟認定された岡山市が、「リッタで子どもと楽しく学ぶSDGs・ユネスコ創造都市ネットワークの紹介」と題して発表。また岡山市SDGs推進パートナーズ参加企業のアップリージ有限会社による、子どもが楽しくSDGsを知るアニメ「リッタ」の動画上映や活動紹介もありました。



◎発表 5

「能登半島地震の支援から見えるもの」と題して、災害支援ネットワークおかやま世話人代表の森田靖、特定非営利活動法人岡山NPOセンター地域連携センター主任アドバイザー（災害支援）詩叶純子、能登復興ネットワークいやさかの太田のぶゆき、萩原工業株式会社三宅泰之の4氏に、災害支援に携わったご経験を様々な角度から発表いただきました。



■レセプションホール

ステージスケジュール

8.6 火

10:30～11:30 「南極セミナー」
ミサワホーム中国株式会社

発表

13:00～13:20 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会
13:22～13:32 大阪・関西万博パビリオン
「電力館 可能性のタマゴたち」(電機事業連合会・東京)
13:34～13:44 チームバイオエナジー (あなぶきハウジングサービス・宮崎)
13:46～13:56 いまばりのイロ (愛媛県繊維染色工業組合)
13:58～14:08 グリーンチャレンジ
14:10～14:20 ㈱フジワラテクノアート
14:22～14:32 ㈱リプロ
14:34～14:44 一般社団法人 DESIGN GOALS
14:46～14:56 FORESTRAIL HIRUZEN-SHINJO
14:58～15:08 MANIWA×SDGs (真庭市)

8.7 水

10:30～11:30 発表
NPO 法人 Blue Earth Project

発表

13:00～13:10 山陽学園中学・高等学校地歴部
13:12～13:22 岡山高等学校
13:24～13:34 瀬戸内かきがらアグリ推進協議会
13:36～13:46 真庭市
13:48～13:58 ㈱ありがとうファーム

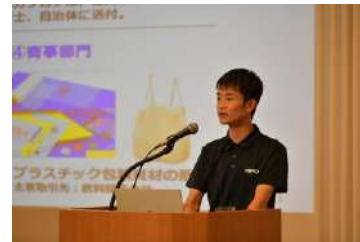
14:30～16:00 発表

「おかやま夢育イニシアチブ」事業 第5回
「瀬戸内海の未来へ届け！～高校生が考えるビジネスアイデア～」



◎発表 8/6(火) 岡山県内外の大阪・関西万博『「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ』登録団体など11出展者が各自の取り組みを発表

	企業団体名	タイトル
1	ミサワホーム中国(株)	「南極セミナー」
2	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会	万博まで、あと250日！～今から始める万博参加～
3	電気事業連合会	大阪・関西万博パビリオン「電力館 可能性のタマゴたち」
4	チームバイオエナジー あなぶきハウジングサービス	「焼酎から生まれるニューエナジーもっとわくわく」
5	いまばりのイロ(愛媛県繊維染色工業組合)	「未来に向けた染色業の取り組みと、誰もが主役のIMABARI Color show」
6	グリーンチャレンジ	「万博の脱炭素の取り組みとEXPOグリーンチャレンジについて」
7	(株)フジワラテクノアート	「『棄てる』から『醸す』」
8	(株)リプロ	「リサイクルプラスチック杭が人と環境を守る」
9	一般社団法人DESIGN GOALS	「障がい者アートでつながろう！！共生社会実現に向けて」
10	FORESTRAIL HIRUZEN-SHINJO	「自然環境の利用と保全の好循環を生むトレイルラン大会」
11	MANIWA×SDGs(真庭市)	『真庭SDGs・バイオマスツアー』～森と自然と地球と暮らす～



◎発表 8/7(水) 前日に岡山県医師会館でワークショップを実施した神戸市拠点のNPO法人 Blue Earth Projectや、岡山県内の大阪・関西万博ベストプラクティス応募5出展者、岡山大学DS部などによる「おかやま夢育イニシアチブ」参加高校生がプレゼン

	企業団体名	タイトル
1	NPO法人 Blue Earth Project	次世代の若者が創る未来『Blue Earth Project』
2	山陽学園中学校・高等学校地歴部	瀬戸内海の海洋ごみ問題の解決に向けて～「シビック・テック」を活用した市民協働による挑戦～
3	岡山高等学校	「高校生の開発商品販売を通した海洋課題解決啓発アクション」
4	瀬戸内かがりアグリ推進協議会	「瀬戸内の海とつながるおかやまの農畜産物」
5	真庭市役所	『キッチンからバイオマス』～持続可能なゴミ処理生ごみ資源化事業～
6	株式会社ありがとうファーム	「障がい者の真の声と姿よ、届け！『PARAメッセージフェス』
7	おかやま夢育イニシアチブ	第5回「瀬戸内海の未来へ届け！～高校生が考えるビジネスアイデア～」



◎8/6(火)

初日終了後、パートナーシップ交流会をレセプションホール特設会場で実施。岡山大学ロータークラブ（RAC）の企画運営により、出展者・招待者約120名が参加（参加無料）しました。藤木茂彦実行委員長の開会挨拶の後、参加者は乾パンなど消費期限間近の備蓄食料を活用した軽飲食物やデザートを楽しみながら、SDGsに関するクイズやゲームなどを通して交流。中締めは国立大学法人岡山大学・那須保友学長と一般社団法人岡山経済同友会・梶谷俊介代表幹事が行いました。



第4会場

◆ リットシティビル
「ひかりの広場」

8.6 火

10:30～11:20 岡山市消防局予防課

11:30～12:20 いまばりのイロ

12:30～13:20 ミサワホーム中国

13:30～14:20 JICA 中国

14:30～15:20 平林金属

8.7 水

10:30～11:20 岡山県立
岡山工業高等学校 土木科

11:30～12:20 創心會

12:30～13:20 ミサワホーム中国

13:30～14:20 山陽学園大学
ボランティアサークルあい





◎8/6、7(火、水)

大阪・関西万博との共創やSDGsにちなんだ企画・コーナーを各所で実施・展開しました。

★万博グッズ販売(レセプションホール)



★ミャクミャク登場(レセプションホール・ひかりの広場ほか)



★カームダウンスペース展示(ひかりの広場)



★ステンレスボトル回収所(レセプションホール総合案内所)



◎新聞広告

▽開催告知

おかやまSDGsフェア2024

子どもたちと学ぶ私たちの未来

2024.8.6 火 - 7 水

会場	1 会場	2 会場	3 会場	4 会場
	岡山県医師会館 [三木記念ホール]	岡山県医師会館 [401会議室]	岡山コンベンションセンター [レセプションホール]	岡山コンベンションセンター リットシティビル [ひかりの広場]

中高生向け課題探究プログラムの参加者を募集!!

「岡山×関西」若者交流プログラム

Blue Earth 塾

日時●6日(火)13:00～16:00 対象●中高生
会場●第2会場/岡山県医師会館(岡山市北区駅元町)
401会議室
定員●先着60人

地球の課題解決に貢献できる
身近なアクションプランを考案・発表

神戸市を拠点に全国の中・高校生を対象に環境啓発を行うNPO法人Blue Earth Projectによるワークショップ。瀬戸内海の現状に焦点を当て、深刻化している海洋環境問題の中で特に大きな課題となっている海ごみ問題への理解を深める機会とします。

▼お申込はこちらから

「おかやま夢育イニシアチブ」事業

第5回「瀬戸内海の未来へ届け!」 ～高校生が考えるビジネスアイデア～」

日時●7日(水)9:00～16:00 対象●高校生
会場●第3会場/岡山コンベンションセンター(岡山市北区駅元町)
レセプションホール(発表)
定員●先着30人

瀬戸内海の問題についてビジネスの観点から
解決策をディスカッション

講演「ビジネスで課題解決!持続可能な未来をつくるために」
講師:岡山大学学術研究院社会文化科学学域 天王寺谷希希准教授
ディスカッション①「瀬戸内海の現状を知って問題を見つける」
ディスカッション②「瀬戸内海を豊かにするためのビジネスアイデア」他

▼お申込はこちらから

主 催: おかやまSDGsフェア実行委員会
(構成団体: 一般社団法人岡山経済同友会、岡山商工会議所、岡山大学、岡山県、岡山市、真庭市、株式会社中国銀行、山陽新聞社、特定非営利活動法人岡山NPOセンター、公益社団法人おかやま観光コンベンション協会、株式会社岡山コンベンションセンター)

協 力: 岡山大学DS(データサイエンス)部、岡山大学ローターアクトクラブ

後 援: 内閣府地方創生推進室、中国経済産業局、中国四国地方環境事務所、日本政府観光局(JNTO)、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、公益財団法人大阪観光局、瀬戸内オーシャンズX推進協議会、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会

お問い合わせ先 **おかやまSDGsフェア2024運営事務局**
山陽新聞社 広告本部内 岡山市北区柳町2-1-1 TEL.(086)803-8013

山陽新聞別冊「高校部活動応援特集」タブロイド版全4段カラー
(7月13日〈土〉付山陽新聞へ折込発行)

おかやまSDGsフェア2024

子どもたちと学ぶ私たちの未来

2024.8.6 火 - 7 水 10:00～16:00

会場	1 会場	2 会場	3 会場	4 会場
	岡山県医師会館 [三木記念ホール]	岡山県医師会館 [401会議室]	岡山コンベンションセンター [レセプションホール]	岡山コンベンションセンター リットシティビル [ひかりの広場]

8.6 ●開会式
三木記念ホール

●来賓
岡山大学DS(データサイエンス)部、岡山大学ローターアクトクラブ

8.6 ●ワークショップ「Blue Earth 塾」
Blue Earth Project

8.7 ●(同時開催イベント)
「海の自由研究フェス2024」
(主催: NPO法人 green bird)

8.6-7 ●「おかやま夢育イニシアチブ」事業
第5回「瀬戸内海の未来へ届け!」
～高校生が考えるビジネスアイデア～」

日時●7日(水)9:00～16:00 対象●高校生
会場●第3会場/岡山コンベンションセンター(岡山市北区駅元町)
レセプションホール(発表)
定員●先着30人

瀬戸内海の問題についてビジネスの観点から
解決策をディスカッション

講演「ビジネスで課題解決!持続可能な未来をつくるために」
講師:岡山大学学術研究院社会文化科学学域 天王寺谷希希准教授
ディスカッション①「瀬戸内海の現状を知って問題を見つける」
ディスカッション②「瀬戸内海を豊かにするためのビジネスアイデア」他

▼お申込はこちらから

お問い合わせ先 **おかやまSDGsフェア2024運営事務局**
山陽新聞社 広告本部内 岡山市北区柳町2-1-1 TEL.(086)803-8013

朝刊記事下全5段カラー (7月17～30日付へ計4回掲載)

▽オフィシャルパートナー特典広告

おかやまSDGsフェア2024
子どもたちと学ぶ私たちの未来

第1会場 岡山県民会館 三本記念ホール
第2会場 岡山県民会館 401会議室
第3会場 岡山コンベンションセンター レセプションホール
第4会場 リットシティビル ひかりの広場

地域の課題解決に全力

岡山トヨタ自動車株式会社は、「SDGs宣言」を掲げ、地域社会の課題解決に貢献しています。特に「社会」の目標である「持続可能な社会の実現」に向け、地域の課題を解決するための取り組みを行っています。

SDGs宣言

- お客様と共に**：お客様のニーズに応える製品・サービスを提供し、社会の発展に貢献します。
- 社員と共に**：社員が活躍できる環境を整え、社会の発展に貢献します。
- 地域社会と共に**：地域の課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献します。

岡山トヨタ自動車株式会社

岡山トヨタ自動車株式会社

岡山トヨタ自動車株式会社

岡山トヨタ自動車株式会社

岡山トヨタ自動車株式会社

岡山トヨタ自動車株式会社

8月5日（月）付 岡山トヨタ 記事下全7段カラー

おかやまSDGsフェア2024
子どもたちと学ぶ私たちの未来

第1会場 岡山県民会館 三本記念ホール
第2会場 岡山県民会館 401会議室
第3会場 岡山コンベンションセンター レセプションホール
第4会場 リットシティビル ひかりの広場

仕事で日々の生活で 身近に感じるSDGs

SDGsは、私たちの生活と密接に関連しています。例えば、環境保護、社会福祉、経済発展など、さまざまな分野でSDGsが実現されています。

SDGs宣言

- お客様と共に**：お客様のニーズに応える製品・サービスを提供し、社会の発展に貢献します。
- 社員と共に**：社員が活躍できる環境を整え、社会の発展に貢献します。
- 地域社会と共に**：地域の課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献します。

岡山トヨタ自動車株式会社

岡山トヨタ自動車株式会社

岡山トヨタ自動車株式会社

岡山トヨタ自動車株式会社

岡山トヨタ自動車株式会社

岡山トヨタ自動車株式会社

8月6日（火）付 中電工 記事下全5段カラー

▽開催記念特集

2024年7月13日（金）開催告知特集。会場は三友記念ホール。テーマは「子どもたちと学ぶ 私たちの未来」。内容は、SDGsに関する展示、ワークショップ、講演会など。主催は岡山県、後援は岡山県庁、岡山県教育委員会、岡山県産業振興局、岡山県観光振興局、岡山県スポーツ振興センターなど。

2024年7月28日（日）開催告知特集。会場は岡山コンベンションセンターなど4会場。テーマは「子どもたちと学ぶ 私たちの未来」。内容は、SDGsに関する展示、ワークショップ、講演会など。主催は岡山県、後援は岡山県庁、岡山県教育委員会、岡山県産業振興局、岡山県観光振興局、岡山県スポーツ振興センターなど。

7月13日（金）付 開催告知特集
全15段カラー

7月28日（日）付 OP紹介特集
全15段カラー

2024年8月4日（日）開催告知特集。会場は岡山コンベンションセンターなど4会場。テーマは「子どもたちと学ぶ 私たちの未来」。内容は、SDGsに関する展示、ワークショップ、講演会など。主催は岡山県、後援は岡山県庁、岡山県教育委員会、岡山県産業振興局、岡山県観光振興局、岡山県スポーツ振興センターなど。

2024年8月4日（日）開催告知特集。会場は岡山コンベンションセンターなど4会場。テーマは「子どもたちと学ぶ 私たちの未来」。内容は、SDGsに関する展示、ワークショップ、講演会など。主催は岡山県、後援は岡山県庁、岡山県教育委員会、岡山県産業振興局、岡山県観光振興局、岡山県スポーツ振興センターなど。

8月4日（日）付 開催直前特集 見開き全30段カラー

▽開催記念特集

◎印刷物ほか

▽Webページ



8月29日（木）付 開催後写真特集
全15段カラー

▽開催告知チラシ（A4裏表カラー）



P-28

◎新聞記事

SDGs フェア継続決定 おかやま 24、25年度計画承認 実行委



25年までの開催を決めた「おかやまSDGsフェア」の実行委員会

岡山県内の企業・団体がSDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた活動（目標）の発信する「おかやまSDGsフェア」の実行委員会が10日、岡山市内で会議を開き、本年度初開催した同フェアを2024、25年度も継続することを決めた。同フェアは今年8月2、3日に岡山コンベンションセンター（岡山市北区駅元町）で実施。145社・団体がブースを設けてリサイクルや脱炭素化などの取り組みをアピールし、2日間で計約4800人が来場した。実行委員は岡山経済同友会、岡山商工会議所、岡山県、岡山市、中国銀行、山陽新聞社など11機関で構成している。（伊東圭一）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

2023年10月11日 山陽新聞朝刊 6ページ

↑ 2023年10月11日付 SDGsフェア継続決定 おかやま実行委 24、25年度計画承認（以後、実行委翌日の2024年3月30日、5月29日、7月20日付へ開催記事掲載）

瀬戸内の海ごみ問題考えよう 来月6日、岡山 中高生参加募る
環境問題の啓発に取り組む神戸市のNPO法人「ブルーアースプロジェクト」は8月6日、岡山市北区駅元町の岡山県医師会館で、瀬戸内海のごみ問題を考えるワークショップを行う。参加する中高生を募っている。同法人メンバーが、市民から排出される食品トレーやレジ袋などのごみが海を汚染して、岡山市北区駅元町主催）のプログラム。午後1時～4時。参加無料。定員先着60人。同フェアのホームページから申し込む。問い合わせは同社広告本部内事務局（086-803-8013）。

いる現状を報告。参加者はグループで解決策を話し合った後、出たアイデアを発表する。SDGs（持続可能な開発目標）を考える「おかやまSDGsフェア2024」（岡山経済同友会、山陽新聞

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

2024年7月29日 山陽新聞朝刊 20ページ

↑ 7月29日付 瀬戸内の海ごみ問題考えよう 来月6日、岡山 中高生参加募る

SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた活動を岡山から発信する「おかやまSDGsフェア2024」が6、7日、岡山コンベンションセンター（岡山市北区駅元町）と、隣接する岡山県医師会館（同）、リットシティビル（同）の広場（同）で開かれる。県内の団体や高校などが、ステージやブースで取り組みをアピール。親子で楽しめるワークショップも展開する。

←8月3日付
SDGs活動 成果紹介 6、7日に岡山でフェア
ステージやブース出展

SDGs活動 成果紹介

フェアは昨年に続き2回目。来年の大阪・関西万博と連携し、万博で優れたSDGsの取り組みを選定する「ベストプラクティス」の応募団体が、海ごみ対策や廃棄物の資源化などの成果を紹介する。万博を運営する日本国際博覧会協会による発表もある。

会場では企業・団体の活動をPRするブース出展やパネル展示のほか、段ボールを使った財作

りやタオル製造で不用になった残糸を利用したアート体験などのワークショップを計画。SDGsにちなんだ飲食コーナーも用意する。

6、7日に岡山でフェア ステージやブース出展

岡山経済同友会や岡山商工会議所、岡山大県、岡山市、中国銀行、山陽新聞社など11機関で構成する実行委が主催。問い合わせは山陽新聞社広告本部の事務局（086-803-8013）。

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

2024年8月3日 山陽新聞朝刊 24ページ

↓8月6日 自信の甘酒プリンです
瀬戸高1年小林、難波さん 中学授業でレシピ開発
岡山の催しで
地元赤磐PR きょう、あす販売

岡山 赤磐

瀬戸高1年小林、難波さん 中学授業でレシピ開発

SDGsフェア出展に向けて打ち合わせをする
小林さん（左）と難波さん



3人は同中の探究学習の授業で、地域に多岐を図った。小林、難波さんは進学後も探究レシピを製作。市内の農産物直売所などで配

瀬戸高1年の小林未菜歩さんと難波望愛さん（ともに15）が、酒どころ・赤磐をPRする「甘酒プリン」を6、7日、岡山市内のイベントで販売する。赤磐市立高陽中3年時に授業で作ったレシピを基に進学後も探究を続け、地元の特産品開発グループと連携して実現にこぎ着けた。同中時代のメンバーで城東高1年の坂本菜洗さん（15）も初日に応援に入る。（近藤哲也）

岡山の催しで 地元赤磐PR きょう、あす販売

小林、難波さんは「幅広い世代に好まれる味で、自信を持って『おいしい』と言える。赤磐の魅力を知るきっかけになればうれしい」と話している。

甘酒プリンは豆乳をふんだんに使い、濃厚でまろやかな風味。酒かすのほどよい粒感も楽しめる。フェアでは各日100個を一つ200円で売る。

コンベンションセンター（岡山市北区駅元町）で開かれる「おかやまSDGsフェア」への出店を決め、「赤磐ふるさとの味研究会」と製造契約を結んだ。

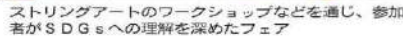


「甘酒プリン」の試作品

自信の甘酒プリンです

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

2024年8月6日 山陽新聞朝刊 26ページ



P-31